

# 放課後子供教室・南部地区

## 鴻巣市・鴻巣中央小学校放課後子ども教室

活動場所	特別教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	52人
参加対象	3～6年生		1日平均参加者数	48人
連携団体	ひばり野グラウンドゴルフクラブ、マジック同好会			
プログラム例	昔遊び、工作手芸（フェルト手芸、ワイヤーアート、編み物紙工作）科学遊び、運動（バドミントン、卓球、バルシューレ、護身術、チアダンス、ポッチャ）ハンドベル 等			
特徴的な活動内容と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回月曜日に実施している。主となるスタッフは、保護者や元保護者であり、一人一人の児童をよく理解して支援に当たっている。講師は幅広く探して、年間27種類のプログラムを用意し、それを児童が自ら選択することで、より主体的な活動ができるようにしている。</li> <li>・プログラム選択会に保護者も参加してもらったり、お迎えの時間を利用した活動発表会を設け、保護者や放課後児童クラブの児童にも見てもらい、活動の成果を披露したり、交流を行っている。</li> <li>・異学年や地域の方との交流、学校や家庭ではできない活動が貴重な体験であると保護者から好評を博している。</li> </ul>			



〔カローリング〕



〔ハンドベル〕

## 鴻巣市基本情報

運営委員会名	鴻巣市放課後子ども教室推進事業運営委員会		
構成役職 (合計24名)	実施校の校長代表者 4名 実施校のPTA代表者 1名 放課後子ども教室コーディネーター15名 放課後児童クラブ代表者2名 市関係課職員2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室の実態把握</li> <li>・事業計画、安全管理、広報活動等について</li> <li>・事業実施後の検証および評価 等</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	17教室 児童クラブとの連携情報 一体型 9教室 連携型 7教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 23箇所		
対象学校区	17校	平均開催日数	26日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	16人
登録児童数	881人	ボランティア数	322人
平均参加児童数	570人	1日当たりの 平均スタッフ数	10人/教室

## 放課後子供教室・南部地区

### 上尾市・原市公民館放課後子供教室

活動場所	上尾市立原市公民館	参加者数	登録児童数	30人
参加対象	原市小学校全学年		1日平均参加者数	13人
連携団体	公民館活動サークル、子どもの読書活動支援センター等			
プログラム例	読み聞かせ、防災教室、スポーツ、工作 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後の子どもの安心・安全な活動場所を確保し、公民館を活動場所とする地域の大人たちの協力を得て、様々な学習や体験活動の取り組みを実施することにより、大人や子ども同士の交流を育み、地域社会の中での生涯学習環境作りを推進するために開催している。</p> <p>原市公民館放課後子供教室では、火曜教室と木曜教室の2教室を実施しており、様々な経験・技術をもつ地域の指導者や公民館サークルの方を講師とした特別教室を実施している。また、子どもの読書支援センター等から専門職員を講師に招くことで、社会教育施設や関係各課との連携も推進されている。</p>			



〔トリックアートに挑戦!〕



〔昔遊び〕

### 上尾市基本情報

運営委員会名	上尾市放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計14名)	公民館運営委員会委員 2名 小学校長 1名 放課後子供教室コーディネーター 2名 公民館長 6名 生涯学習課職員 3名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の活動報告</li> <li>・安全管理</li> <li>・地域協力者の確保</li> <li>・翌年度事業の活動計画 (予定)</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 2教室 参考：放課後児童クラブ箇所数40箇所 (47クラブ)		
対象学校区	2校	平均開催日数	54日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	2人
登録児童数	52人	ボランティア数	20人
平均参加児童数	24人	1日当たりの 平均スタッフ数	3人/教室

## 放課後子供教室・南部地区

### 草加市・小山小放課後子ども教室小山

活動場所	マルチルーム 外国語ルーム 校庭（体育館）	参加者数	登録児童数	86人
参加対象	全学年		1日平均 参加者数	62人
連携団体	—			
プログラム例	宿題・ボール遊び・昔遊び・お絵かき・ボードゲーム 等			
特徴的な活動 内容と成果	<p>本教室は、毎週木曜日の放課後に、小学校等の施設を使用し、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するために行っている。</p> <p>教室活動中のプログラム等は設けず、宿題の部屋、あそびの部屋、校庭（体育館）から子どもたちが自由に選択して活動している。</p> <p>また、放課後児童クラブとは、校庭を合同で使用している。</p>			



〔室内あそび〕



〔体育館あそび〕

## 草加市基本情報

運営委員会名	草加市放課後子ども教室推進事業運営委員会		
構成役職 (合計14名)	放課後子ども教室代表者3名 放課後児童クラブ代表者2名 社会教育関係代表者1名 児童福祉関係代表者1名 草加市PTA連合会代表者1名 地域住民代表者3名 学校関係代表者1名 市職員2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の策定、安全管理方策の調査及び検討</li> <li>・広報活動方策の調査及び検討</li> <li>・ボランティア等地域協力者の人材確保方策の調査及び検討</li> <li>・事業実施後の検証・評価、放課後児童健全育成事業との連携の検討</li> <li>・その他事業の運営に関し必要な事項</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	21教室	児童クラブとの連携情報	38箇所
	一体型 20教室	連携型 1教室	
対象学校区	21校	平均開催日数	34日/教室
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	15人
登録児童数	2,142人	ボランティア数	223人
平均参加児童数	225人	1日当たりの 平均スタッフ数	7人/教室

# 放課後子供教室・南部地区

## 蕨市・放課後子ども教室

活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	44人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	44人
連携団体	—			
プログラム例	宿題、各種工作教室、自由遊び 等			
特徴的な活動 内容と成果	<p>本教室では、子供たちの安心・安全な居場所づくりと交流活動や様々な体験・学習活動などを進めています。今年度はコロナ禍が収束したこともあり、活動の幅を広げております。</p> <p>内容と成果 宿題、各種工作教室、自由遊び等を通して普段交流のない異学年との交流を行う機会を提供することが出来た。また、スイカ割、クリスマス会などの季節の行事を実施することによって日本の文化を学ぶとともに経験することが出来た。</p>			



〔スイカ割〕



〔クリスマス飾りづくり〕

## 蕨市基本情報

運営委員会名	蕨市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計15名)	開設校の校長の代表者1名 各校区ごとの実行委員会の代表者7名 民生・児童委員の代表者1名 スポーツ又は文化関係団体の代表者2名 留守家庭児童指導室関係者1名 社会教育委員の代表者1名 P T Aの代表者1名		
検討内容	(1) 実施状況について (2) 事業計画の策定 (3) その他放課後子ども教室の運営に関し必要な事項		
放課後子供教室 実施数	7教室 (平年時) 児童クラブとの連携情報 一体型 7教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数18箇所 (うち民間2箇所)		
対象学校区	7校	平均開催日数	30日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	7人
登録児童数	484人	ボランティア数	17人
平均参加児童数	50人	1日当たりの 平均スタッフ数	15人/教室

# 放課後子供教室・南部地区

戸田市・戸田第二小学校 放課後子ども教室				
活動場所	教室、校庭、体育館	参加者数	登録児童数	71人
参加対象	1、2年生 ※令和6年度以降は全学年予定		1日平均参加者数	23人 ※学年毎に開催
連携団体	—			
プログラム例	宿題、昔遊び、工作、ボール遊び、読み聞かせ			
特徴的な活動内容と成果	<p>月に一度は工作の時間を設け、七夕飾りの作成など季節に応じたプログラムも実施しており、児童が飽きないような取り組みを実施することで、児童も興味を持って積極的に参加している。</p> <p>さらに、児童が手作りの工作やゲームで貰った賞品などを保護者へ見せることで、保護者からも好評を得ているとともに、スタッフのモチベーション向上にも繋がっている。</p>			



〔工作〕



〔読み聞かせ〕

戸田市基本情報			
運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計 8名)	学校関係者 (小学校長) 1名 P T A関係者 2名 社会教育関係者 2名 地域住民 (放課後子ども教室コーディネーター) 2名、 行政関係者 (教育政策室担当課長) 1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室の実態把握</li> <li>・スタッフ募集のための広報活動</li> <li>・コーディネーター・安全管理員向けの研修</li> </ul>		
放課後子供教室実施数	12教室 児童クラブとの連携情報 12教室 公設公営は校内交流型 民設民営は連携型 参考：放課後児童クラブ箇所数 公設公営12校20室、民設民営28室 公設民営2室		
対象学校区	12校	平均開催日数	20日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	12人
登録児童数	544人	ボランティア数	144人
平均参加児童数	26人	1日当たりの平均スタッフ数	6人/教室

## 放課後子供教室・南部地区

### 志木市・放課後志木っ子タイム

活動場所	教室、体育館、校庭等	参加者数	登録児童数	473人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	48人
連携団体	志木市社会福祉協議会			
プログラム例	工作、折り紙、昔あそび、バンド楽器 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、全児童を対象として放課後の居場所づくりを行い、次世代を担う子どもたちの健やかな成長と人間形成を目指している。</p> <p>通常期間の平日は放課後から午後の5時まで、三季休業日中の平日は午前8時から午後5時まで実施している。</p> <p>放課後児童クラブとは一体型で運営を行っており、放課後子ども教室で行われる体験プログラムに参加できる。</p> <p>また、三季休業日中はお弁当の注文をアプリで保護者が行い、受け取って手渡す取り組みも行っている。</p> <p>教室の最初に宿題をやることになっているため、保護者からは学習の時間を確保する意味でも好評を得ている。</p>			



〔マステアート作成中〕



〔消しゴムはんこ〕

## 志木市基本情報

運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計10名)	行政関係者 学校関係者 学童保育クラブ関係者 社会教育関係者 児童福祉関係者 PTA関係者 スポーツ・レクリエーション団体関係者 コミュニティ団体関係者 ボランティア団体関係者 小学校区内の地域住民及び委員会が特に必要と認めた者		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室全校の運営平準化</li> <li>・活動プログラムの企画、安全管理</li> <li>・広報活動方策</li> <li>・地域住民との多世代交流の継続</li> <li>・協力者の人材確保</li> </ul>		
放課後子供教室実施数	8教室 児童クラブとの連携情報 一体型 8教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数8箇所		
対象学校区	8校	平均開催日数	240日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	8人
登録児童数	2857人	ボランティア数	534人 ちいパト隊
平均参加児童数	45人	1日当たりの平均スタッフ数	4人/教室

## 放課後子供教室・南部地区

### 和光市・第五小学校わこうっこクラブ (放課後子供教室)

活動場所	施設・教室・校庭	参加者数	登録児童数	233人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	65人
連携団体	NPO法人、近隣農園、地区社会福祉協議会、市体育協会			
プログラム例	ボール遊び、ダンス、昔遊び、手品、科学教室、工作教室等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、子供たちが教育活動サポーターの見守りのもと、放課後を安全に過ごし、様々な体験活動や幅広い人々との交流を通じて、自主性・協調性をはぐくむことを目指し開催した。独立型施設を有しているため、長期休業中だけでなく、学校の振替休業日にも開室できる。</p> <p>同じ施設を使用しているさつきのご学童クラブとの日常的な交流だけでなく、学校敷地内にある南学童クラブとの交流、隣接する児童館を活用した子供たちの活動場所拡大と交流を図ってきた。学童クラブと合同した夏祭りや運動会も開催した。</p> <p>月に2回、他学童クラブ在所児童も参加するイベント型事業としてスポーツや文化、芸術にふれるイベントを実施した。市テニス協会に協力いただいたテニピン等、新規プログラムも実施し、内容の充実に努めた。</p>			



〔市テニス協会の協力 テニピン〕



〔学童クラブとの合同運動会〕

### 和光市基本情報

運営委員会名	和光市子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計18名)	各小学校実行委員 9名 和光市小学校校長会代表者 1名 和光市小学校教頭会代表者 1名 学童クラブ代表者 3名 コーディネーター代表者 3名 生涯学習課長、事務局担当職員		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の策定</li> <li>・事業の検証、評価</li> <li>・プログラムの企画立案</li> <li>・次年度の活動計画作成</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	9教室 児童クラブとの連携情報 一体型 2教室 連携型 7教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 15箇所		
対象学校区	9校	平均開催日数	236日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	9人
登録児童数	2059人	ボランティア数	133人
平均参加児童数	256人	1日当たりの 平均スタッフ数	4.2人 /教室

# 放課後子供教室・南部地区

## 新座市・野火止ココフレンド

活動場所	教室・図書室・体育館・校庭	参加者数	登録児童数	203人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	24人
連携団体	民間業者・放課後児童保育室・ボランティア			
プログラム例	宿題・工作折り紙教室・ゲーム・外遊び・月1レクリエーション等			
特徴的な活動内容と成果	<p>小学校を安全・安心な活動拠点とし、地域協力を得ての居場所づくりを運営し、5年目を迎える。前半の学習時間は宿題を中心とした自学自習が定着しつつある。後半の自由時間では児童がそれぞれ活動を選択している。室内では将棋やマンカラなどの対戦ゲームで遊ぶ。体育館や校庭では縄跳び・サッカー・鬼ごっこ・固定遊具での遊びが人気である。月1で工作、王様ドッジなどの群れ遊び、こども大喜利などの心躍らせるイベントを開催。高学年は主に長期休みの利用が多く、高学年限定のイベントを実施することもある。年長者ならではのアイデアや気遣いで教室を盛り上げてもらっている。</p> <p>保護者からは学習習慣の定着、異学年交流、子どもが安心していられる場所があることでメンタルの安定にもなっているなどといった声をいただいている。</p>			



クリスマス会



タグラグビー講座

## 新座市基本情報

運営委員会名	新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会		
構成役職 (合計17名)	教育長、教育総務部長、小学校長、PTA代表者、町内会連合会会長、民生・児童委員協議会理事、社会教育委員、放課後児童保育室支援員代表者、実行委員会委員長、コーディネーター代表者、子ども支援課長、保育課長、教育支援課長、生涯学習スポーツ課長、受託事業者代表者		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の運営状況について</li> <li>・アンケートの実施及び結果について</li> <li>・事業に関する要綱、マニュアル等の改正について</li> </ul>		
放課後子供教室実施数	17教室 児童クラブとの連携情報 一体型 17教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 17箇所		
対象学校区	17校	平均開催日数	201日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	52人
登録児童数	3383人	ボランティア数	231人
平均参加児童数	428人	1日当たりの平均スタッフ数	6人/教室



## 放課後子供教室・南部地区

### 桶川市・朝日小学校放課後子供教室

活動場所	朝日小学校内	参加者数	登録児童数	52人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	14人
連携団体	朝日小学校放課後児童クラブ			
プログラム例	学習の時間（宿題、自主学習） ふれあいの時間（音楽鑑賞、手品あそび、ボール運動など）			
特徴的な活動内容と成果	<p>桶川市は、全学年の子供を対象として、放課後、小学校の一部をお借りして、子供たちの安全・安心な活動拠点（居場所）をつくることを目的とし、実施している。子供たちが地域社会の中で心豊かに健やかに育まれるよう、地域の方々の参画を得て、交流活動や様々な体験・学習活動などを進めている。</p> <p>本教室では、出会い・ふれあい・学びあいをモットーに異学年が1つのグループを作り上級生がリーダーとなって活動を進めている。</p> <p>様々な体験や交流を通じて、人との言葉や心のキャッチボールを大切にしながら自主性・協調性・独自性の育成を図っている。</p> <p>放課後児童クラブの子どもも1日10人位参加して両方の活動を楽しんでいる。</p>			



〔避難訓練〕



〔紙飛行機飛ばし〕

### 桶川市基本情報

運営委員会名	桶川市放課後子供教室事業運営委員会		
構成役職 (合計20名)	学校長 1名 各小学校PTA役員 7名 小学校区を活動圏域とする地域の方 1名 各小学校コーディネーター 7名 社会教育委員 1名 行政関係者 3名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の策定</li> <li>・事業実施後の検証及び評価等</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	7教室 児童クラブとの連携情報 一体型 7教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数7箇所		
対象学校区	7校	平均開催日数	126日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	17人
登録児童数	290人	ボランティア数	123人
平均参加児童数	16人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

# 放課後子供教室・南部地区

## 朝霞市・夏休み放課後子ども教室

活動場所	教室、体育館	参加者数	登録児童数	109人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	16.2人
連携団体	科学読物研究会、NPO法人朝霞ぐらんぱの会、ファルモル、筆家団楽			
プログラム例	科学あそび教室、工作教室、バランスボール、キッズヨガ、墨と親しもう			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、「夏休み期間中にも子どもの居場所を」という市民の要望を受け、例年9月から実施している、土曜日の教育支援に加え、夏休み期間中の平日を利用して、夏休み放課後子ども教室を各教室の定員を20名（「墨と親しもう」は15名）に限定し、令和4年度から実施している。</p> <p>教室内容としては、各校とも5日間のうち、2日間は夏休みの宿題や課題等を行い、残りの3日は、土曜日の教育支援で人気のある講師によるプログラム提供型の教室を実施した。</p> <p>参加者からは、「学校では習わないことを教えてくれて、科学に興味を持つようになった」、「他の学年の子と友達になれてよかった」等の感想をいただいた。</p>			



〔工作教室〕



〔バランスボール〕

## 朝霞市基本情報

運営委員会名	朝霞市放課後子ども教室実行委員会		
構成役職 (合計10名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市小学校長6名</li> <li>・朝霞市保護者代表連絡会1名</li> <li>・朝霞市子ども連合会1名</li> <li>・朝霞市青少年育成市民会議1名</li> <li>・朝霞市教育委員会生涯学習・スポーツ課1名</li> </ul>		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の実施報告及び評価</li> <li>・今年度の実施予定内容</li> <li>・年間スケジュール 等</li> </ul>		
放課後子供教室実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 校内交流型 0教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 10箇所		
対象学校区	10校	平均開催日数	5日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	3人
登録児童数	114人	ボランティア数	36人
平均参加児童数	9.7人	1日当たりの平均スタッフ数	4人/教室

# 放課後子供教室・南部地区

## 北本市・南小放課後子ども教室

活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	42人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	16人
連携団体	地域サークル活動団体			
プログラム例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学びの時間（宿題、自主学习）</li> <li>・ ふれあいの時間（ものづくり、折り紙、バドミントン、読み聞かせ、けん玉 等）</li> </ul>			
特徴的な活動内容と成果	<p>1日の流れとしては、前半は、宿題を中心とする「学びの時間」、後半は、地域の方等を指導者に様々な体験活動を行う「ふれあいの時間」となっている。</p> <p>ふれあいの時間における特色ある取組の1つとして、小学校内に落ちているドングリを使ったコマづくりがある。指導担当スタッフが下準備したコマに、子どもたちは色付けをし完成させるもので、好評を得ている。※1</p> <p>また、放課後児童クラブとの交流活動（共通プログラム）を年1回実施している。今年度は地域の方による腹話術を見て、楽しんだ。※2</p> <p>保護者からは、他学年児童との交流や家庭でのコミュニケーションが増えたことなど良い評価を得ている。</p>			



〔完成したコマを回す※1〕



〔児童クラブとの交流活動※2〕

## 北本市基本情報

運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計15名)	放課後子ども教室代表7名 放課後児童クラブ関係者1名 校長会代表2名 PTA代表1名 コミュニティ協議会代表1名 民生委員・児童委員代表1名 学校教育課長、子育て支援課長		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画の策定</li> <li>・ 安全管理方策の検討</li> <li>・ 広報活動方針の検討</li> <li>・ 地域協力者確保に係る方策の検討</li> <li>・ 事業の検証および評価 など</li> </ul>		
放課後子供教室実施数	7教室 児童クラブとの連携情報 一体型 7教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数7箇所		
対象学校区	7校	平均開催日数	96日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	17人
登録児童数	291人	ボランティア数	132人
平均参加児童数	105人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

## 放課後子供教室・西部地区

### 東松山市・松山第一小学校放課後子ども教室 ジャンプまついち

活動場所	教室・体育館等	参加者数	登録児童数	23人
参加対象	1～3年生		1日平均参加者数	12人
連携団体	外部講師（市に登録された方、グループ）			
プログラム例	シャボン玉教室、うちゅう教室、工作（ハロウィーン 等）			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、コロナ禍が続く中、今年度も5月末からスタートし、平日の月・金の放課後に2班に分かれて実施している。子どもたちがより安全に楽しく過ごせ、保護者の方々が安心して預けて頂けるようスタッフ一同で活動を計画し、感染予防と健康管理を十分行い教室運営に取り組んでいる。</p> <p>前半は宿題を中心に学習活動に取り組み、その後は室内ゲームや様々な工作活動に取り組んでいる。また、体育館では、バドミントン等毎月内容を工夫しての運動を実施している。外部講師による体験活動も実施している。</p> <p>保護者からは、放課後の短い時間に家庭では普段できない活動や体験ができること、また他学年児童との交流や家庭でのコミュニケーションが増えたことなどで好評を得ている。</p>			



〔シャボン玉教室〕



〔ペットボトルボーリング〕

## 東松山市 基本情報

運営委員会名	東松山市放課後子ども教室連絡会議		
構成役職 (合計39名)	放課後子ども教室コーディネーター11名 小学校長11名 PTA会長11名 放課後児童クラブ代表 教育委員会 （子ども家庭部部長、子ども家庭部次長、子育て支援課長、保育課長、学校教育課長）		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室の検証について</li> <li>・放課後子ども教室の活動内容について</li> <li>・次年度の実施内容について</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	11教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数19箇所		
対象学校区	11校	平均開催日数	53日
主な対象学年	1～3年生 (1校のみ1～6年生)	コーディネーター数	11人
登録児童数	207人	ボランティア数	71人
平均参加児童数	105人	1日当たりの平均スタッフ数	5人/教室

## 放課後子供教室・西部地区

### 飯能市・おくむさし わくわくルーム

活動場所	体育館、教室、校庭	参加者数	登録児童数	57人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	42人
連携団体	ソニー・ミュージックエンタテインメント、駿河台大学、名栗げんきプラザ、飯能市各課・館			
プログラム例	ミュージカルレッスン、ダンス、ホッケー、コーディネーショントレーニング、科学実験、英語活動、集団遊び 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室設置校は小規模特認校として特色ある活動を行っている。本教室も学校の魅力づくりの一つとなっている。</p> <p>ソニー・ミュージックエンタテインメントとの連携では、プロの直接指導によるミュージカルやダンス体験だけでなく、プログラミングや「ゆる楽器」等の体験も実施している。</p> <p>市立図書館と連携した本に親しむ活動や文化財担当と連携した埋蔵文化財に親しむ活動、スポーツ課と連携したホッケーを楽しむ活動も行っている。また、市内在住の方の様々な専門性を生かし実験、英語、絵画等の体験を実施している。</p> <p>保護者からは、様々な体験ができることや興味を持って意欲的に参加している子どもの様子に、好意的な意見をいただいている。</p>			



〔ゆるダンスレッスン〕



〔ABCで遊ぼう〕

### 飯能市基本情報

運営委員会名	奥武蔵小学校放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計8名)	校長 1名 児童クラブ 1名 PTA 1名 社会教育関係者 1名(内兼務 1名) 教室コーディネーター 1名 教育活動指導員 3名 生涯学習課職員 2名(内兼務 1名)		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の策定</li> <li>・事業の検証及び評価</li> <li>・プログラムの企画</li> <li>・次年度の活動予定</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 一体型 2教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数20箇所		
対象学校区	2校	平均開催日数	25日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	2人
登録児童数	75人	ボランティア数	7人
平均参加児童数	54人	1日当たりの 平均スタッフ数	4人/教室

## 放課後子供教室・西部地区

### 狭山市・「スマイル!ほりっ子」

活動場所	堀兼小学校体育館、校庭	参加者数	登録児童数	86人
参加対象	2～6年生		1日平均参加者数	66人
連携団体	—			
プログラム例	自由遊び（ボール遊び、工作、昔あそび、一輪車 等）			
特徴的な活動内容と成果	<p>狭山市地域子ども教室は、子供たちに安心・安全な活動拠点を提供し、多様な活動や交流の機会を与えることにより、地域社会の中で子供たちが健やかに育つ環境を醸成するとともに、地域の教育力の向上に資することを目的としている。</p> <p>当教室は令和4年度に試行開催を行い、課題や反省点を整理した上で、令和5年度に新規開設に至った。今年度は2～6年生の児童を対象に、合計5回の開催を予定している。</p> <p>実施内容は主に自由遊びとしており、体育館では、ドッジボール、バスケットボール、バドミントン、卓球、工作、折り紙、昔あそびなどを行い、校庭では、一輪車、野球、サッカー、ホッピング、鉄棒などを行っている。</p>			



〔こま回し遊び〕



〔一輪車遊び〕

### 狭山市（町）基本情報

運営委員会名	狭山市地域子ども教室連絡会T i eに委託		
構成役職 (合計14名)	各教室の代表が理事となり、理事会を組織し、狭山市地域子ども教室連絡会T i eを運営している。 代表理事1名 副代表理事2名 理事9名 監事2名 その他、相談役2名、事務員3名が運営委員会を組織。 コーディネーター3名、社会教育課職員		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの高齢化による人材確保</li> <li>・教室同士の情報交換</li> <li>・スタッフへの研修、運営体制の充実</li> <li>・地域への情報発信</li> <li>・コーディネーターの育成</li> <li>・新教室の開設</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	12教室（体験教室2、放課後10） 児童クラブとの連携情報 一体型 10教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ（学童）個所数 15箇所		
対象学校区	13校	平均開催日数	月に1日
主な対象学年	全学年 <small>※教室により異なる</small>	コーディネーター数	3人
登録児童数	1003人	ボランティア数	169人
平均参加児童数	47人	1日当たりの 平均スタッフ数	9.9人/教室

## 放課後子供教室・西部地区

### 入間市・わく☆どき！ふじさわきた

活動場所	藤沢北小学校図工室	参加者数	登録児童数	15人
参加対象	市内在住小学生		1日平均参加者数	15人
連携団体	NPO法人あそびあ〜とこども劇場入間、入間市華道連盟 他			
プログラム例	工作、運動遊び、昔遊び、華道、音楽、季節のイベント 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>入間市放課後子ども教室は、放課後に子どもたちの安全で安心な活動拠点を設け、地域住民の皆さんの協力を得て、子どもたちに様々な体験活動の機会を提供している。今年度も年間を通して、多岐にわたる体験活動を提供することができた。</p> <p>プログラム内容についても、コーディネーターをはじめとしたスタッフの創意工夫がされており、例えば工作の材料として、廃材をリサイクルして利用するなど、環境を意識した取組も行っている。参加者の保護者からは、「他学年とも関わって、普段家ではできない体験ができる」「親自身が多忙なため毎日学童に通う中で、様々な体験をさせていただけるのは親子共々ありがたいと思っている」などの声が多くあった。また、放課後子ども教室で作成した作品を、市内博物館の企画で展示し、児童や保護者から好評をいただいている。</p>			



活動の様子



工作の体験

### 入間市 基本情報

運営委員会名	入間市放課後子ども教室事業運営協議会		
構成役職 (合計 15名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入間市立小学校の児童の保護者代表 2名</li> <li>・地域住民により組織する団体の代表者 3名</li> <li>・学校教育及び社会教育の関係者 4名</li> <li>・市内在住者から公募で 3名</li> <li>・知識経験者 3名</li> <li>・事務局：青少年課</li> </ul>		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の策定に関する事</li> <li>・安全管理方策に関する事</li> <li>・広報活動方策に関する事</li> <li>・地域協力者の人材確保方策に関する事</li> <li>・実施プログラムの企画に関する事 等</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	16教室 児童クラブとの連携情報 一体型 15教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 16箇所		
対象学校区	16校	平均開催日数	39日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	9人
登録児童数	1656人	ボランティア数	36人
平均参加児童数	552人	1日当たりの 平均スタッフ数	3人/教室

## 放課後子供教室・西部地区

### 富士見市・関沢キッズクラブ

活動場所	体育館、校庭	参加者数	登録児童数	456人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	25人
連携団体	放課後児童クラブ、育成会、市内スポーツ関係者等			
プログラム例	あそべる工作、Tボール、公式ドッジボール、生け花教室 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、スポーツ活動や文化活動を通して、子どもたちの安心・安全で楽しい居場所づくりを目指して活動している。</p> <p>放課後児童クラブを利用している児童も多く参加しており、毎回児童クラブの先生が連れて来てくれて、児童たちと一緒に活動に参加してくれている。</p> <p>少年野球チームやドッジボールチーム、中学校の吹奏楽部などに先生をお願いし、各種スポーツ活動や文化活動を行っている。吹奏楽部の顧問の先生からは、過去キッズクラブで開催した吹奏楽部との交流会に参加した子が、中学生になり吹奏楽部に入部している、というお話も伺った。</p> <p>関沢キッズクラブとしての居場所づくりはもちろんとし、スポーツチームや中学校の部活など、様々な団体がつくっている居場所を、子どもたちに紹介できたことは、大きな成果だと感じている。</p>			



作って遊ぼう！ストローとんぼ



少年野球チームのみなさんとTボール教室

### 富士見市 基本情報

運営委員会名	富士見市地域子ども教室連絡協議会		
構成役職 (合計34名)	各教室企画運営委員23名 校長会2名 放課後児童クラブ職員1名 児童館職員3名 公民館職員4名 交流センター職員1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教室間の情報共有</li> <li>共通課題とその解決策について</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	10教室 児童クラブとの連携情報 一体型 10教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数26箇所		
対象学校区	10校	平均開催日数	11日
主な対象学年	全学年 低学年	コーディネーター数	13人
登録児童数	4739人	ボランティア数	82人
平均参加児童数	66人	1日当たりの 平均スタッフ数	12人/教室



## 放課後子供教室・西部地区

### 鶴ヶ島市・放課後のびのび算数教室

活動場所	市内全小学校（8校）	参加者数	登録児童数	391人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	9人
連携団体	—			
プログラム例	算数の基礎学習			
特徴的な活動内容と成果	<p>年度当初に復習プリントを行い、個々のつまづきのポイントを確認した上でプリントやタブレットによる学習を始めている。また、授業の進度に合わせるために、担任と学力向上支援員との間で連絡ノートを活用している。子供たちからは、「わかりやすく教えてもらって算数が好きになった」「また参加したい」などの感想があった。スタッフからは、「子供たちの成長を見ることが楽しみ」「生きがいを感じながら地域に貢献できる」などの声が寄せられている。</p> <p>課題としては、参加しやすい環境づくりとスタッフの確保が挙げられる。今後は、安全への配慮に努めるとともに、より効果的な指導を行えるよう、プリント作りを検討していきたいと考えている。</p>			



〔指導員からの指導を受けて〕



〔自主学习〕

### 鶴ヶ島市基本情報

運営委員会名	鶴ヶ島市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計 10名)	放課後子ども教室代表 3名 放課後児童クラブ関係者 1名 校長代表 1名 P T A代表 1名 子ども・地域に関する活動関係者 4名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の検証、評価</li> <li>・新・放課後子ども総合プランの推進</li> <li>・人材確保、広報活動などの方策</li> <li>・次年度の活動予定</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	28教室 児童クラブとの連携情報 一体型 15教室 連携型 13教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 15箇所		
対象学校区	8校	平均開催日数	4.2日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	28人
登録児童数	1391人	ボランティア数	162人
平均参加児童数	8.0人	1日当たりの 平均スタッフ数	5人/教室

## 放課後子供教室・西部地区

### 日高市・高麗小学校区放課後子ども教室

活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	37人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	35人
連携団体	高麗地区地域学校協働本部			
プログラム例	宿題、工作、ボール遊び、竹馬、一輪車 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、平日放課後の子どもたちの安心・安全な居場所づくりのため、様々な体験や異年齢との交流を通して、自主性・協調性の育成を目指している。</p> <p>活動内容については、スタッフとの打ち合わせ会にて決めており、今年度はコロナ明けのため、すべて自由遊びで6回開催することとした。</p> <p>保護者からは、放課後の短い時間に子どものペースで自由に過ごすことができること、地域の大人が子どもたちのために一生懸命活動し見守ってくれること、この活動を通して異年齢の交流もでき、家庭でのコミュニケーションが増えることなどで好評を得ている。</p>			

### 日高市 基本情報

運営委員会名	放課後子ども教室代表者会議		
構成役職 (合計15名)	地域学校協働活動推進員 PTA スポーツ少年団 学校応援団 公民館企画運営委員 保護者		
検討内容	・放課後子ども教室の活動内容について		
放課後子供教室 実施数	4 教室 児童クラブとの連携情報 一体型 3 教室 連携型 1 教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 13箇所		
対象学校区	4 校	平均開催日数	4 日
主な対象学年	1～6 学年	コーディネーター数	5 人
登録児童数	1 2 2 人	ボランティア数	2 4 人
平均参加児童数	1 1 4 人	1日当たりの 平均スタッフ数	6 人/教室



〔はじまりの会〕



〔今日は何してあそぼうかな〕

## 放課後子供教室・西部地区

### ふじみ野市・三角小学校放課後子ども教室

活動場所	教室、校庭、体育館	参加者数	登録児童数	36人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	32人
連携団体	文京学院大学			
プログラム例	宿題、外遊び、体育館遊び、季節の工作			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後の子どもたちの安心安全な居場所づくりと、地域住民との交流の機会の提供を目的として、週に1回活動を行っている。</p> <p>本教室の特徴的な活動としては、市内にある文京学院大学との連携である。学生に大学の授業内で企画を検討してもらい、1学期に指導員補助として教室に参加してもらい、2学期には学生が企画したプログラムを実際に行うという実習を行っている。児童だけでなく指導員からも好評である。経験豊富な地域の指導員と、新たな視点を持った大学生が連携することで、幅広い体験活動の機会を児童に提供することができた。</p> <p>また、比較的経験の浅い指導員が中心となり、工作やスポーツ、お話し会など、得意分野を活かしたプログラムを実施することで、指導員の育成を行っている。</p> <p>また、保護者の見学を積極的に呼びかけ、この事業への理解を深めていただく機会としている。</p>			



【お話し会・パネルシアター】



【文京大学学生企画（新聞じゃんけん）】

### ふじみ野市 基本情報

運営委員会名	ふじみ野市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計11名)	小学校長1名 P T A 連合会1名 放課後児童クラブ2名 自治組織連合会2名 民生委員・児童委員協議会1名 放課後子ども教室指導員1名 学識経験者1名 ふじみ野市職員2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の策定</li> <li>・事業の検証及び評価</li> <li>・次年度の活動予定</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	13教室 (うち2教室は3学期1回のみ開催) 児童クラブとの連携情報 一体型 13教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 29箇所		
対象学校区	13校	平均開催日数	34日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	14人
登録児童数	356人	ボランティア数	36人
平均参加児童数	32人/教室	1日当たりの 平均スタッフ数	5.6人/教室

## 放課後子供教室・西部地区

### 毛呂山町・放課後学習教室

活動場所	各小学校の余裕教室	参加者数	登録児童数	各学校約 30人
参加対象	小学3・4年生		1日平均 参加者数	各学校約 28人
連携団体	近隣大学			
プログラム例	学校の宿題、放課後学習教室の宿題、百マス計算 等			
特徴的な活動 内容と成果	<p>毛呂山町の放課後学習教室は、児童の安心安全な居場所づくりや学習習慣の定着を目的に実施しています。また、地域の方にコーディネーターや学習サポーターとして活躍していただき、地域ぐるみで毛呂山の子どもを育てる「地域学校協働活動」の取り組みとしても重要な役割を担っています。</p> <p>参加児童に行ったアンケートでは、「友達と一緒に勉強できて楽しい」・「スタッフが優しく教えてくれるから嬉しい」といった意見を多数いただいております。</p>			

### 毛呂山町基本情報

運営委員会名	毛呂山町放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計14名)	社会教育委員2名 各小学校教頭4名 PTA会長1名 学童保育の会1名 各教室コーディネーター4名 子ども課職員1名 学校教育課職員1名 (事務局)生涯学習課		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の策定</li> <li>・事業の評価、検証</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	4教室 児童クラブとの連携情報 一体型 3教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数4箇所		
対象学校区	4校	平均開催日数	30日
主な対象学年	3、4学年	コーディネーター数	4人
登録児童数	115人	ボランティア数	25人
平均参加児童数	107人	1日当たりの 平均スタッフ数	7人/教室



〔スタッフのお話を聞く児童〕



〔学習の様子〕

## 放課後子供教室・西部地区

### 滑川町・放課後子供教室

活動場所	福田小学校（多目的室、 図工室、体育館、校庭）	参加者数	登録児童数	25人
参加対象	福田小学校1、2学年		1日平均 参加者数	19人
連携団体	—			
プログラム例	地域ボランティアとの交流、かるた、藍染体験 等			
特徴的な活動 内容と成果	<p>本教室では、子供達が放課後を安心・安全に過ごす居場所を提供するため、遊び・学習・体験・交流等の多様な活動を実施している。</p> <p>福田小学校を拠点として、小学校内の多目的室を主な活動場所とし、週に一度、火曜日に活動している。月に平均2回の割合で、地域ボランティアとの交流を行い、工作や昔遊び等を通して、子供達と地域の方々とのふれあいを進めている。</p> <p>夏休みには特別開催として、1年生から6年生を対象とした教室を開催した。中学生ボランティアと「万華鏡」の作成、ザリガ二釣り等、昔からの遊びを学ぶと共に他学年や中学生との交流を行うことができた。</p>			



〔藍染体験〕



〔郷土かるた〕

### 滑川町 基本情報

運営委員会名	放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計 5名)	コーディネーター1名 小学校校長1名 学童保育関係者1名 指導主事1名 PTA会長1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の策定</li> <li>・事業の検証及び評価</li> <li>・次年度の活動予定</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 1箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	34日
主な対象学年	1～2学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	25人	ボランティア数	16人
平均参加児童数	19人	1日当たりの 平均スタッフ数	3人/教室

## 放課後子供教室・西部地区

### 嵐山町・放課後子供教室スイミー

活動場所	嵐山町ふれあい交流センター	参加者数	登録児童数	46人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	15人
連携団体	大妻嵐山中学校・高等学校、子ども理科教室・東松山 他			
プログラム例	通常活動(自由遊び、図書の読み聞かせ 等) 通常活動(科学教室、バスケット教室、芋ほり体験 等)			
特徴的な活動内容と成果	<p>嵐山町の放課後子供教室スイミーでは、平日放課後の通常活動と休日や夏季休暇期間を活用した特別活動を実施している。</p> <p>町内全ての小学生を参加対象としているため、他校の児童や異なる学年児童などとの交流を図ることができる。</p> <p>通常活動では、自由遊びの他、町立図書館の司書による図書の読み聞かせを行うなど、社会性も育むことができる内容としている。</p> <p>特別活動では、科学の「ふしぎ」を学んだり、高校生とのスポーツ教室、芋ほり体験では地域の住民との交流など、学校生活では体験できない活動をさせることにより、将来への新たな可能性を引き出すことができている。</p>			

### 嵐山町基本情報

運営委員会名	嵐山町交流センター運営協議会		
構成役職(合計10名)	地域団体関係者 1名 ボランティア団体関係者 1名 学校教育の関係者 1名 社会教育の関係者等 7名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営状況、活動内容について</li> <li>・実態把握について</li> </ul>		
放課後子供教室実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 4箇所		
対象学校区	3校	平均開催日数	30日
主な対象学年	1~6学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	46人	ボランティア数	3人
平均参加児童数	15人	1日当たりの平均スタッフ数	1人/教室



〔バスケットボール教室〕



〔芋ほり体験〕

## 放課後子供教室・西部地区

### 小川町・みどりっこ教室

活動場所	専用教室・音楽室・多目的スペース・体育館・校庭等	参加者数	登録児童数	57人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	53人
連携団体	おり紙協会・小川町ウインドアンサンブル 等			
プログラム例	宿題、外遊び、吹奏楽鑑賞会、わくわく天文教室、人権DVD視聴等			
特徴的な活動内容と成果	<p>当教室は、令和元年5月に開設され、5年目を迎えました。登録児童数は57人で、町内5教室の中では一番人数の多い教室です。</p> <p>「特別の活動」として、今年度、小川町ウインドアンサンブルの方々をお招きし、吹奏楽鑑賞会を行いました。トランペットやチューバなど、初めての楽器に子供たちは、興味深く聴き入っていました。</p> <p>また、今年度も「あったか♡タイム」（人権DVD鑑賞会）を実施しました。低学年は、「スッコケ三人組いじめをなくす作戦」（アニメ）、高学年は「夕焼け」（ヤングケアラーを扱ったもの）を視聴しました。人権意識高揚に資する時間になったものと考えています。</p> <p>昨年度は、「手話教室」を行い、簡単な手話の表現を学びました。5教室の初めの会では、全員で歌を歌う取組を始めました。また、遊び時間の最初には、ドッジボールなどの全員遊びを取り入れました。</p> <p>異学年の交流もでき、よりよい友達関係ができて来ています。</p> <p>今年度も、放課後子供教室の目指す「安全・安心・よりよい居場所づくり」における豊かな体験や仲間づくりができています。</p>			



〔吹奏楽鑑賞会〕



〔手話教室〕

### 小川町基本情報

運営委員会名	小川町放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計15名)	区長会1名 老人会1名 PTA1名 民生委員1名 学童クラブ1名 校長会2名 社会教育委員1名 公民館審議会委員1名 学識経験者2名 行政3名 コーディネーター1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の検証と評価</li> <li>・各教室の視察</li> <li>・諸課題への指導、助言等</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	5教室 児童クラブとの連携情報 一体型 3教室 連携型 2教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 6箇所		
対象学校区	5校	平均開催日数	26日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	5人
登録児童数	210人	ボランティア数	35人
平均参加児童数	190人	1日当たりの 平均スタッフ数	10人/教室

## 放課後子供教室・西部地区

### 川島町・中山っ子くらぶ

活動場所	公民館、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	34人
参加対象	中山っ子くらぶに登録している児童		1日平均参加者数	30人
連携団体	各種地域団体、公民館、小学校、町文化協会、見学施設			
プログラム例	グラウンドゴルフ、工作、施設見学、料理体験 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>地域で精力的に活動されている方が、放課後子供教室のコーディネーターやクラブリーダーとして活躍しており、地域や公民館で活動する様々な団体と連携をとりながら活動している。今年度は、新型コロナウイルスが5類感染症になったこともあり、コロナ禍以前の活動に戻りつつある。地域の方々のサポートや、町の文化協会との連携により、日常生活では経験することの難しい活動や、施設見学などをおこなった。その結果、子ども達も地域の中に溶け込み、活動外でも顔を合わせると挨拶を交わすようになるなど良好な関係が築けている。</p>			

### 川島町基本情報

運営委員会名	川島町地域子ども教室実行委員会		
構成役職 (合計12名)	川島町教育委員会教育長 放課後子供教室コーディネーター5名 川島町公民館連絡協議会会長 社会教育指導員 生涯学習課長、生涯学習課職員		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子供教室の運営について</li> <li>放課後子供教室、放課後児童クラブとの連携について</li> </ul>		
放課後子供教室実施数	4教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 3教室 参考：放課後児童クラブ箇所数4箇所		
対象学校区	4校	平均開催日数	10日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	5人
登録児童数	100人	ボランティア数	100人
平均参加児童数	80人	1日当たりの平均スタッフ数	10人/教室



〔勾玉つくり〕



〔三二門松作り〕



## 放課後子供教室・西部地区

### 吉見町・南小放課後こども教室

活動場所	南公民館	参加者数	登録児童数	23人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	13人
連携団体	公民館、社会教育関係団体			
プログラム例	自主学習、自主活動、工作、室内ゲーム 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>田園風景の広がる、自然に囲まれた中で児童に農業への関心を持ってもらうためにかかしについて学ぶとともに作製を行っている。二日に渡り作製に取り組み、個性豊かなかかしを完成させ農家の方に許可を頂いて、収穫前の田にかかしを設置している。和やかな雰囲気の中で活動が行われ、その中で共に「認め合い、語り合い、学び合う」姿が見られる。毎日の自主学習への積極的な取り組みは、家庭学習の習慣づくりを後押する力になっている。外出しての遊びが減り、一人遊びが多い傾向にある子どもたちにとって、学年や通学班の異なる児童との交流、多様な体験ができる放課後子ども教室は、保護者から高い評価を得ている。</p>			



〔かかしの完成〕



〔かかしの設置〕

### 吉見町基本情報

運営委員会名	吉見町放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計12名)	教育委員1名 社会教育委員1名 放課後子ども教室実施校の校長2名 放課後子ども教室実施校のPTA会長2名 放課後児童クラブ関係者2名 社会教育指導員、子育て支援課長、 教育総務課長、生涯学習課長		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室の実施状況について</li> <li>・アンケート結果について</li> <li>・成果と課題について</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数2箇所		
対象学校区	2校	平均開催日数	52日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	52人	ボランティア数	14人
平均参加児童数	34人	1日当たりの 平均スタッフ数	3人/教室

## 放課後子供教室・西部地区

鳩山町・今宿小学校放課後子ども教室 今宿キッズ！				
活動場所	教室、図工室、 体育館、校庭	参加者数	登録児童数	34人
参加対象	1～3学年		1日平均 参加者数	30人
連携団体	—			
プログラム例	宿題、プリント学習（百ます計算など）、読み聞かせ、 ボール遊び、オセロ、カードゲーム 等			
特徴的な活動 内容と成果	<p>鳩山町では、小学校の余裕教室等を活用し、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域住民の参画を得ながら、子どもたちに様々な学習や遊び、体験活動の機会を提供している。</p> <p>本教室は令和5年6月に鳩山町立今宿小学校内に開設され、事業の実施により、自ら学ぶ力を身につけさせ、また、地域で子どもを育てる環境の充実を図り、子どもたちが健やかに育まれる環境づくりを目指している。</p> <p>活動時間は、1日2時間程度とし、前半の活動は学習時間として宿題やプリント学習に取り組み、後半の活動は全体活動や自由活動の時間を設け、全員でできるゲームや各自で考えた活動（カードゲームやオセロ、ボール遊びなど）に取り組んでいる。</p> <p>本年度は教室開設の初年度であったが、子どもたちが学びや遊びを通じて、楽しみながら、異学年の友達や地域の人々との交流を図ることができたことは大きな成果であった。</p>			



〔言葉遊び〕



〔自由学習〕

鳩山町基本情報			
運営委員会名	鳩山町放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計13名)	学校関係者 社会教育関係者 放課後児童クラブ関係者 PTA関係者、学識経験者 コーディネーター 公募委員  事務局：教育委員会事務局		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方針及び事業計画の策定に関すること</li> <li>・安全管理方策に関すること</li> <li>・広報活動方策に関すること</li> <li>・ボランティア等地域協力者の人材確保方策に関すること</li> <li>・事業実施後の検証及び評価に関すること</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 3箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	28日
主な対象学年	1～3学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	34人	ボランティア数	17人
平均参加児童数	30人	1日当たりの 平均スタッフ数	8人/教室

## 放課後子供教室・西部地区

### ときがわ町・萩ヶ丘いきいき教室

活動場所	萩ヶ丘小学校教室、校庭	参加者数	登録児童数	30人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	30人
連携団体	萩ヶ丘小学校			
プログラム例	宿題のサポート、校内での遊び、野球			
特徴的な活動内容と成果	<p>給食のある日の放課後における見守りとして、宿題のサポートを始め教室内や校庭での遊びを行っている。</p> <p>夏季においては気温が高い日が続いたため、熱中症対策として熱中症計を用いて気温、湿度を常に確認し、屋外での活動が危険と判断された場合には適宜活動場所を屋内やエアコンの設置された部屋に変更して活動を継続した。</p> <p>コロナ禍で中止していた野球指導を再開した。</p>			

### ときがわ町基本情報

運営委員会名	萩ヶ丘いきいき教室打ち合わせ会		
構成役職 (合計10名)	小学校長 小学校教頭 萩ヶ丘いきいき教室指導員 (6名のうち1名放課後児童クラブ指導員兼務) 生涯学習課長、生涯学習課担当者		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・萩ヶ丘いきいき教室の活動について(参加児童下校ルールの検討、熱中症対策等)</li> <li>・その他運営状況の共有</li> </ul>		
放課後子供教室実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 3箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	190日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	30人	ボランティア数	6人
平均参加児童数	30人	1日当たりの平均スタッフ数	2人/教室



〔屋外での遊び〕



〔野球指導〕



〔屋内での自主学習〕

## 放課後子供教室・西部地区

### 東秩父村・放課後子ども教室

活動場所	槻川小学校	参加者数	登録児童数	60人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	35人
連携団体	和紙の子児童クラブ（学童）			
プログラム例	コースター作り、科学実験教室、グラウンドゴルフ体験等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、平日放課後の子供たちの安心・安全な居場所づくりはもちろんであるが、特に「様々な体験」に特化し、自主性・協調性の育成を目指している。</p> <p>令和3年度から実施をスタートしており、まだ3年目。今年度から実施回数は6回となった。内容については、放課後子ども教室運営委員会で決めている。1回の実施に力をいれており「遊び」よりも「学び」「体験」といったプログラムに特化。児童や保護者からも評判がよく、参加率も非常に高い。家庭でのコミュニケーションが増えたことなどで好評を得ている。</p> <p>また、参加申込み用紙にて「当日の保護者の協力可否（ボランティア）」の欄も作成し、事務局の負担を軽減することにも成功。</p>			



〔科学実験教室〕



〔グラウンドゴルフ体験〕

### 東秩父村基本情報

運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計12名)	教育委員 1名 小学校教頭 1名 小学校PTA会長 1名 民生委員・児童委員 1名 和紙の子児童クラブ関係者 3名 スクールガードリーダー1名 住民福祉課課長 1名 教育委員会事務局3名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の策定</li> <li>・事業の検証及び評価</li> <li>・プログラムの企画</li> <li>・次年度の活動予定</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 1箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	6日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	0人
登録児童数	60人	ボランティア数	5人
平均参加児童数	35人	1日当たりの 平均スタッフ数	3人/教室

## 放課後子供教室・北部地区

熊谷市・桜木っ子ふれあいじゅく（熊谷市立桜木小学校区）				
活動場所	教室、体育館、校庭、自治会館、公民館	参加者数	登録児童数	120人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	20人
連携団体	青少年健全育成会、公民館、自治会連合会、子ども育成会、立正大学			
プログラム例	学校キャンプ、合宿体験、収穫体験、郷土かるた、おはなし会、ボール遊び			
特徴的な活動内容と成果	<p>5月27日（土）・28日（日）の2日間、1年生から6年生までの児童が学校に泊まり、一緒に生活する、「ふれあいキャンプ」を開催した。運営委員・ジュニアリーダーの協力のもと、多くの児童・保護者の参加を得て開催することができた。夕食のカレー作りでは、児童たちが材料を切り、薪を使って飯盒炊爨を行い、キャンプならではの食事ができた。夜は、体育館に設置した蚊帳の中や、校庭に設置したテントの中で、班ごとに一晩を過ごした。スタッフとして、桜木小学校を卒業した中高生の先輩や立正大学の学生ボランティア、保護者、地域の方、学校の先生方が参加し、様々な場面で児童の活動を支えた。また、参加者全員で災害時を想定した行動も考えることができた。</p> <p>10月13日（金）・14日（土）には、地区の公民館や自治会会館を利用した「合宿体験」を開催した。参加した児童は、異年齢集団での共同生活という普段できない貴重な体験を通して、友達との絆を深め、集団生活のマナーを学び、支えてくださった方々への感謝の気持ちを養うことができた。今後も、子供を地域で育てるという地域教育力の高まりを期待し、活動を続けていく。</p>			



〔校庭にテントを設営〕



〔手ほどきを受けながらのカレー作り〕

## 熊谷市基本情報

運営委員会名	熊谷市放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計16名)	熊谷市PTA連合会1名 熊谷市子ども会育成連絡協議会1名 熊谷市青少年健全育成市民会議1名 熊谷市社会福祉協議会1名 熊谷市自治会連合会1名 熊谷青年会議所1名 熊谷市校長会2名 熊谷市公民館連合会1名 (公財)熊谷市スポーツ協会1名 熊谷市文化連合1名 子どもセンターボランティア代表者1名 熊谷市社会教育委員会議1名 校区代表1名 社会教育課長1名 社会教育課指導主事1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内放課後子供教室の実態把握について</li> <li>・事業計画の策定</li> <li>・事業の検証及び評価</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	28教室 児童クラブとの連携情報 一体型 26教室 連携型 2教室 参考：放課後児童クラブ箇所数60箇所 (市立53箇所・民間7箇所)		
対象学校区	28校	平均開催日数	7日/教室
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	28人
登録児童数	8647人	ボランティア数	372人
平均参加児童数	44人	1日当たりの 平均スタッフ数	8人/教室

## 放課後子供教室・北部地区

### 本庄市・学ぼう舎（共和公民館）

活動場所	公民館	参加者数	登録児童数	11人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	10人
連携団体	公民館利用団体、地域シニアクラブ、社会福祉協議会 等			
プログラム例	スポーツレクリエーション体験、福祉体験、英語教室 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、児童に安全な居場所を設け、自主学習、体験学習又は文化活動により児童の自主性及び創造性を育む事を目的に、原則月2回、土曜日に実施している。</p> <p>地域の方を支援者として、近隣の施設や市内の団体・人材とも連携しながら、自主学習の支援や体験学習等を活動内容としている。特に体験学習は会場ごとに各々企画・実施しており、令和5年度は「福祉体験活動」「親子着衣泳教室」「英語教室」などを行った。</p> <p>保護者からは、宿題の分からない所を教えてもらえること、勉強以外にも様々な体験ができること、他学年・他学校の児童や地域の方との関わりが持てることなどで好評を得ている。</p>			

### 本庄市基本情報

運営委員会名	本庄市小学生学習支援事業運営委員会		
構成役職 (合計 8名)	コーディネーター6名 生涯学習課職員2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の策定</li> <li>・事業内容の報告</li> <li>・課題等の検討</li> <li>・安全管理の共有</li> <li>・次年度の活動予定の検討</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 22箇所		
対象学校区	6校	平均開催日数	15日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	6人
登録児童数	96人	ボランティア数	31人
平均参加児童数	90人	1日当たりの 平均スタッフ数	5人/教室



〔着衣泳教室〕



〔スポーツレクリエーション〕

# 放課後子供教室・北部地区

## 深谷市・岡部小平日放課後子ども教室

活動場所	図工室、体育館等	参加者数	登録児童数	24人
参加対象	3～6年生		1日平均参加者数	23人
連携団体	—			
プログラム例	漢字検定にチャレンジ、書き初め教室、陶芸（絵付け）体験、かるた、スポーツ（なわとび、ドッジビー）等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、平日の放課後に小学校の余裕教室を利用して、漢字検定に挑戦することを目的とした漢字学習のほか、体験型のプログラムを通じて、児童の安心・安全な居場所を提供するものです。また、学年を超えた児童の交流の場であり、教室スタッフのほか地域の幅広い年代の方々との交流を通して、児童の自主性・社会性のより一層の向上を目指しています。</p> <p>参加児童は、原則、全日程に参加すること、保護者の迎えを条件としており、教室終了後は保護者への引き渡しを行います。</p> <p>放課後児童クラブとは、児童の安全確保について連携を図っており、教室終了後は、教室スタッフが放課後児童クラブまで引率し、放課後児童クラブ職員へ引き渡しています。</p>			



〔書き初め教室〕



〔陶芸（絵付け）体験〕

## 深谷市基本情報

運営委員会名	平日放課後子ども教室協議会		
構成役職 (合計27名)	各学校長：5名 各学校担当（教頭）：5名 地域学校協働活動推進員：5名 平日放課後子ども教室マネージャー：5名 （うち地域学校協働活動推進員兼務：4名） 放課後児童クラブ職員：9名 生涯学習スポーツ振興課職員：2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室の実施方法（実施場所・募集人員・募集方法）</li> <li>・実施日程及びプログラムの内容</li> <li>・児童の安全管理対策（感染症対策含む）</li> </ul>		
放課後子供教室実施数	5教室 児童クラブとの連携情報 一体型 5教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 32箇所		
対象学校区	5校	平均開催日数	10日
主な対象学年	3～6学年	コーディネーター数	5人
登録児童数	1192人	ボランティア数	40人
平均参加児童数	90人	1日当たりの平均スタッフ数	7人/教室

## 放課後子供教室・北部地区

### 横瀬町・放課後等子ども教室

活動場所	教室・体育館・校庭	参加者数	登録児童数	64人
参加対象	1・2年		1日平均参加者数	60人
連携団体	学校応援団、横瀬町社会福祉協議会			
プログラム例	宿題、ボール遊び、なわとび教室、絵本作り、手品教室			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は小学校の空き教室（2か所）を主な活動場所とし、放課後や長期休業中における児童の安全で安心な場所を確保するとともに、様々な体験活動を通して豊かな人間性を育てることを目的としている。</p> <p>新型コロナウイルスによる多くの制限も緩和され、子ども達の活動も以前のように活発化してきた。</p> <p>今年度は、受け入れ人数が昨年度より10名以上増え、指導員の数も2名増員され、皆で創意工夫をして取り組んでいる。特に冬の「なわとび教室」は好評で、児童の興味・関心や技能がだいぶ向上した。また、夏休みのお昼寝タイムも復活し、長い一日も規則正しく過ごすことができた。</p>			

### 横瀬町基本情報

運営委員会名	放課後等子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計13名)	横瀬小学校長、教頭 放課後子ども教室指導員9名 横瀬町教育委員会担当者2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等子ども教室の活動内容について</li> <li>・運営及び活動内容の成果と課題について</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 1箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	238日
主な対象学年	1・2学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	64人	ボランティア数	30人
平均参加児童数	60人	1日当たりの平均スタッフ数	6人/教室



〔なわとび教室〕



〔手品教室〕



## 放課後子供教室・北部地区

### 長瀬町・はつらつルーム（長瀬第一小）

活動場所	教室・体育館	参加者数	登録児童数	16人
参加対象	1～3学年		1日平均参加者数	12人
連携団体	町民団体			
プログラム例	宿題、読書、工作、企画行事（軽スポーツ体験・郷土芸能体験）等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後の子供たちの安全な居場所を確保するとともに、多様な学習・体験活動を通して豊かな人間性の育成を目指している。</p> <p>企画行事は小学校の協力をいただき、体育館を利用したのドッチビー体験や、音楽室を利用して和太鼓演奏体験を行った。講師の指導のもと、ルールや技能を学び、異学年の交流を深めた。</p> <p>教育活動推進員は、児童の健康状態を把握しつつ、宿題や個別の学習活動を中心に指導にあたった。また、通常の活動に加え、身近にある材料を使用して工作に取り組む中で、一人ひとりの豊かな想像力を育む機会が増えた。</p>			



〔宿題・学習の個別支援〕



〔ドッチビー体験〕

### 長瀬町基本情報

運営委員会名	放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計16名)	放課後子供教室代表2名 児童クラブ代表2名 小学校長2名 PTA代表2名 児童クラブ室担当、健康こども課長、教育長、教育次長、指導主事 事務局 (教育総務担当主幹、教育総務担当主任、学校教育指導員)		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子供教室の基本構想</li> <li>・活動内容について</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 2教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 3箇所		
対象学校区	2校	平均開催日数	70日
主な対象学年	1～3学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	29人	ボランティア数	5人
平均参加児童数	10人	1日当たりの平均スタッフ数	2人/教室

## 放課後子供教室・北部地区

小鹿野町・いきいき教室（長若小学校）				
活動場所	1年教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	4人
参加対象	1年生全児童		1日平均参加者数	4人
連携団体	学校応援団、主任児童委員、厚生保護女性会 等			
プログラム例	工作、運動、昔遊び 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>放課後子供教室の実施により、1年生が他学年の児童と集団下校することができ、下校時における安全確保を図ることができている。</p> <p>児童は、指導者による活動を心待ちにしている。地域の指導者とふれあいながら、夢中になって活動する中で、様々な知識や技能を身につけることができている。</p> <p>地域の指導者の皆様に来校していただくことにより、地域の方々に学校を知ってもらうよい機会になっている。実際に指導者の方から「子供の笑顔を見ると元気になる」「毎回子供とふれあうことを楽しみにしている」との声をいただいております、地元の方々と学校の交流の場となっている。</p>			



〔うちわバレーボール〕



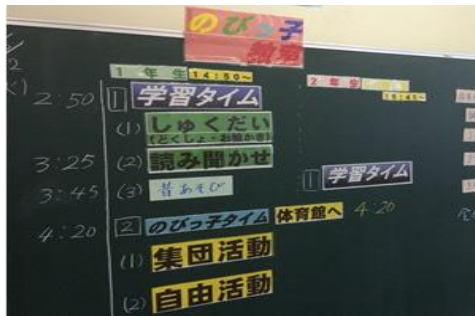
〔ハロウィン飾り〕

小鹿野町基本情報			
運営委員会名	放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計 11名)	小学校長 1名 各教室コーディネーター 4名 各学校担当者 4名 教育委員会職員 2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の事業計画について</li> <li>・活動内容についての情報共有</li> <li>・事業内容の報告</li> <li>・次年度の活動予定について</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	4教室 児童クラブとの連携情報 一体型   1教室 連携型   3教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 4箇所		
対象学校区	4校	平均開催日数	29日
主な対象学年	1学年	コーディネーター数	6人
登録児童数	41人	ボランティア数	64人
平均参加児童数	41人	1日当たりの 平均スタッフ数	2.7人/教室

# 放課後子供教室・北部地区

## 上里町・上里東小のびっ子教室

活動場所	上里東小学校	参加者数	登録児童数	26人
参加対象	1～3年生		1日平均参加者数	20人
連携団体	—			
プログラム例	宿題・読書・工作・体育館遊び 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>上里町放課後子供教室（上里東小学校のびっこ教室）は、放課後の空き教室等を利用し、週2日間、子供達が放課後に、異年齢の仲間と安全かつ安心して学習や体験活動を通して、異年齢交流を図れる居場所づくりを実施している。</p> <p>ボランティアには地域の方や、退職教員にご協力いただいて開催している。時期に応じて、工作等さまざまな事業をサポートが提案して下さり、通年を通して子供たちは飽きずに楽しんでいる。毎回前半に学習タイムを30分間設けることにより、のびっ子教室にて宿題を終わらせる子が多くおり、保護者からも家で宿題をさせる必要がないので助かっているという声が上がっている。</p> <p>子供たちにとっては異年齢の子たちと遊べる数少ない機会となり、サポーターにとっても地域の子供と触れ合える機会となり、双方にとって良い効果が出ている。</p>			



のびっ子教室のスケジュール



七夕飾りづくり

## 上里町基本情報

運営委員会名	上里町放課後子供教室運営委員会		
構成役職 (合計20名)	実施校校長 5名 公民館代表 1名 PTA 1名 子ども会育成会 1名 スポーツ少年団 1名、 ボランティア団体 1名 関係課室長 4名 実施校コーディネーター 5名 学識経験者 1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間事業計画検討</li> <li>・事業成果検討</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 一体型 0教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 5箇所		
対象学校区	5校	平均開催日数	38日
主な対象学年	1～3学年	コーディネーター数	11人
登録児童数	96人	ボランティア数	40人
平均参加児童数	16人	1日当たりの 平均スタッフ数	6人/教室

## 放課後子供教室・東部地区

### 行田市・埼玉小学校わくわくクラブ

活動場所	埼玉小学校内 (埼玉こルーム・体育館)	参加者数	登録児童数	27人
参加対象	1・2年生		1日平均 参加者数	26人
連携団体	—			
プログラム例	宿題・スポーツ・工作・料理教室・各種出前講座 等			
特徴的な活動 内容と成果	<p>埼玉小学校わくわくクラブは、令和元年度に開設され、月1回(4・8月除く)活動を実施している。</p> <p>新型コロナウイルスによる活動制限も緩和され、多岐に渡る活動を実施しているところである。</p> <p>今年度は、スポーツや出前講座の他、行田で有名な「花手水」を色画用紙を使って作成するなどした。</p> <p>参加している児童は、普段なかなか体験できない活動に積極的に取り組んでおり、コーディネーターを中心に指導スタッフが一人一人の子どもたちに寄り添いながら子どもたちの活動を支援している。子どもたちは活動終了後、成就感を味わい笑顔いっぱい帰宅の途についている。</p> <p>成果としては、多くの体験活動及び異学年交流をとおして、子どもたちの豊かな心の育成につながっている。</p>			

### 行田市基本情報

運営委員会名	行田市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計17名)	各教室コーディネーター10名 小学校長2名 PTA代表1名 社会教育関係者2名 自治会長1名 生涯学習スポーツ課長1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教室の運営状況</li> <li>活動内容についての情報共有</li> <li>安全管理及び課題解決の協議 等</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	10教室 児童クラブとの連携情報 一体型 10教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数19箇所		
対象学校区	10校	平均開催日数	15日
主な対象学年	1～3学年	コーディネーター数	10人
登録児童数	447人	ボランティア数	101人
平均参加児童数	394人	1日当たりの 平均スタッフ数	8人/教室



3B体操



色画用紙を使った花手水作り

## 放課後子供教室・東部地区

### 春日部市・宮川小学校放課後子ども教室

活動場所	特別教室・体育館	参加者数	登録児童数	77人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	66人
連携団体	学区内の自治会、共栄大学、コープみらい			
プログラム例	ドッチビー、食中毒予防、羽子板絵付け、昔遊び			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後における子どもたちの安全安心な活動場所の確保と、地域の方々の協力によって多様な体験活動等の機会を提供することを目的としている。</p> <p>以前は地域のスポーツ振興団体の協力により、技術の向上を目的としたスポーツ教室を土曜日に定期開催していたが、コロナ禍を経て、自治会を中心とした組織に実行委員会を再編し、令和4年度から現在のイベント型の開催を行っている。</p> <p>令和5年度は、近隣の共栄大学の学生を講師に招いたドッチビー教室や、生活協同組合コープみらいの出前授業を活用した講座、学区内の自治会から集まったボランティアが実施する昔遊びなど多様なプログラムを実施し、参加した児童からも好評を得ている。</p>			

### 春日部市基本情報

運営委員会名	春日部市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計11名)	小学校長会代表 社会教育委員 自治会連合会代表 青少年育成春日部市民会議代表 生涯学習市民推進員 市PTA連合会代表 放課後子ども教室代表2名 共栄大学准教授 指導課長 中央公民館長		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度放課後子ども教室の実施について</li> <li>春日部市放課後子ども教室推進事業の課題について</li> </ul>		
放課後子供教室実施数	17教室 児童クラブとの連携情報 一体型 17教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 23箇所		
対象学校区	17校	平均開催日数	7.2日/教室
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	23人
登録児童数	1174人	ボランティア数	実人数は把握できていない
平均参加児童数	83.9人	1日当たりの平均スタッフ数	12人/教室



〔羽子板の絵付け〕



〔昔遊び-紙相撲〕

## 放課後子供教室・東部地区

羽生市・羽生北小学校放課後子ども教室				
活動場所	教室・体育館	参加者数	登録児童数	10人
参加対象	4～6学年		1日平均参加者数	8人
連携団体	—			
プログラム例	宿題、自主学習、ドッジボール、鬼ごっこ、和太鼓教室、等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、子どもたちの安全・安心な居場所作り、地域の方々と様々な活動を行い、異年齢間の交流を深めることを目的として活動している。</p> <p>前半に学習の時間として、宿題・自主学習等を行い、後半にスポーツ活動として、ドッジボール・鬼ごっこ等を体育館や校庭で活動している。また、年に数回、特別活動として外部から講師を招き、普段の学校生活とは一味違った体験プログラムを提供している。今年度は郷土芸能団体の方達を講師に「和太鼓教室」、伝統和芸保存会の方達からは「琴教室」を開催した。子どもたちは皆真剣に取り組んでいた。</p>			

羽生市基本情報			
運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計44名)	実施校区の学校代表者6名 放課後児童クラブ関係者5名 実施校区住民の代表者6名 P T Aの代表者6名 社会教育関係者6名 児童福祉の代表者3名 教育長推薦12名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の活動報告について</li> <li>・来年度の募集について</li> <li>・来年度の活動内容について</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	6教室 児童クラブとの連携情報 一体型 4教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数10箇所		
対象学校区	6校	平均開催日数	16日
主な対象学年	4～6学年	コーディネーター数	6人
登録児童数	77人	ボランティア数	18人
平均参加児童数	67人	1日当たりの 平均スタッフ数	3人/教室



〔和太鼓教室〕



〔琴教室〕

## 放課後子供教室・東部地区

### 久喜市・わしの子ゆうゆうプラザ（放課後子ども教室）

活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	111人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	100人
連携団体	鷲宮中学校、鷲宮西コミュニティ協議会、久喜市ボッチャ協会、PTA			
プログラム例	科学実験、ボッチャ、バドミントン、手芸、ダンス			
特徴的な活動内容と成果	<p>当プラザは、地域の方々が中心となり運営されている。平日放課後の子どもたちの安心・安全な居場所として、また、学習・体験活動の場として、子どもたちの「生きる力」を育んでいる。</p> <p>PTAとの連携が図れており、PTA主催の行事にも、多くの当プラザの子どもたちが参加し、保護者・地域の方々とのコミュニケーションが深まっている。また、令和5年度から卒業生である中学生がサポーターとして参加し、運営面での補助とともに、小学生と中学生との交流機会の創出により、中1ギャップ解消の一助となっている。</p>			



〔バドミントン〕



〔ボッチャ〕

## 久喜市基本情報

運営委員会名	久喜市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計36名)	社会教育委員1名 校長会1名 スポーツ推進委員1名 学童運営委員1名 スポーツ少年団員1名 子ども会育成員1名 レクリエーション協会1名 民生・児童委員1名 PTA連合会1名 婦人会連合会1名 青年会議所1名、 涯学習推進代表者2名 各放課後子ども教室代表者21名 教育部局1名 子ども未来部局1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターの調整</li> <li>・サポーターの調整</li> <li>・事業の普及</li> <li>・事業実施後の評価、検証</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	放課後子ども教室21教室 児童クラブとの連携情報 一体型 18教室 連携型 3教室 参考：放課後児童クラブ箇所数21箇所		
対象学校区	21校	平均開催日数	15日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	21人
登録児童数	2,930人	ボランティア数	2,520人
平均参加児童数	2,783人	1日当たりの 平均スタッフ数	42人/教室

## 放課後子供教室・東部地区

### 三郷市・風吹くらぶ

活動場所	教室、体育館	参加者数	登録児童数	24人
参加対象	1～3学年		1日平均参加者数	22人
連携団体	PTA関係者・地域住民			
プログラム例	宿題、ハロウィン・クリスマスの小物作り、外遊び 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>風吹くらぶは、今年度新設された教室である。地域住民の協力のもと、児童が安心・安全に過ごせる体験活動を行うための場を提供している。</p> <p>体験活動の内容としては、画用紙や紙コップを使用したハロウィンのカボチャ作りやクリスマスリースの工作、外あそび、雨量計作りなど、季節に合わせて様々な体験活動を行った。</p> <p>児童にとって、普段関わることが少ない地域の大人や他学年の児童との交流を図る機会を与えるとともに、学校での授業では体験することができない体験活動を行うことのできる貴重な機会となっている。</p>			



〔梅雨の時期に合わせた雨量計作り〕



〔クリスマス飾り作り〕

### 三郷市基本情報

運営委員会名	三郷市放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計11名)	地域住民の代表者1名 社会教育関係者2名 各教室の代表者3名 子育て支援団体の代表者1名 PTA代表者1名 学校教育担当課長1名 子ども支援課長1名 学校教育担当者1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の運営方法</li> <li>・今年度の活動状況</li> <li>・次年度の活動予定</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	3教室 児童クラブとの連携情報 一体型 3教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数19箇所		
対象学校区	3校	平均開催日数	8日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	3人
登録児童数	74人	ボランティア数	17人
平均参加児童数	71人	1日当たりの 平均スタッフ数	5～6人 /教室



## 放課後子供教室・東部地区

### 蓮田市・「ひらりんきっず／ひらりんすたでい」

活動場所	教室、校庭、体育館	参加者数	登録児童数	68人
参加対象	2～6年生		1日平均参加者数	42人
連携団体	ひらりんぱっ（平野小学校放課後子供教室スタッフ）			
プログラム例	自由遊び、スポーツ、宿題 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、子供たちの安心・安全な放課後の居場所づくりを目的に、様々な活動や学習の場づくりを行っている。自由遊びを中心とした「ひらりんきっず」と、学習支援を中心とした「ひらりんすたでい」の2つのプログラムを実施している。</p> <p>「ひらりんきっず」では、子供たちの主体性を育むため、自分たちで考えて自由に過ごす時間とし、「ひらりんすたでい」では、苦手意識が克服できる学習の場づくりに努めている。安心・安全に様々な活動ができることから、保護者からは好評を得ており、参加希望者が増加している。</p>			



外遊びの様子



学習支援の様子

### 蓮田市基本情報

運営委員会名	蓮田市放課後子供教室推進事業運営委員会 （蓮田市社会教育委員会議）		
構成役職 （合計 7名）	学校教育関係者（蓮田市小・中学校長会） 社会教育関係者 （蓮田市子ども会育成連絡協議会、 ボーイスカウト蓮田第1団、 蓮田市スポーツ推進員連絡協議会） 家庭教育関係者 （民生委員・児童委員協議会、 NPO子育て支援団体） 学識経験者（蓮田市議会議員）		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子供教室の活動内容</li> <li>・放課後子供教室の運営体制</li> <li>・蓮田市の社会教育事業について</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 1教室 参考：放課後児童クラブ箇所数9箇所		
対象学校区	2校	平均開催日数	25日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	19人
登録児童数	201人	ボランティア数	0人
平均参加児童数	30人	1日当たりの 平均スタッフ数	4人/教室

## 放課後子供教室・東部地区

### 吉川市・放課後子ども教室

活動場所	三輪野江小学校 ふれあいホール・ 校庭・体育館	参加者数	登録児童数	77人
参加対象	全学年		1日平均 参加者数	70人
連携団体	—			
プログラム例	かけっこ教室、ハンドボール教室、ラジオ体操講習会 等			
特徴的な活動 内容と成果	<p>本教室は、放課後に子どもが安心して活動できる場の確保を図るとともに、「志を持った子どもたちを育てる」という理念の下、スポーツ、工作などの体験型学習、地域住民との交流活動、ICT機器を使用した学習などを、地域や学校などと連携を図りながら次世代を担う子どもの健全育成を支援することを目的としている。</p> <p>また、様々なプログラムを体験するだけでなく、教室開始時に10～15分時間を設け、その時間を児童自ら宿題に取り組むように支援し、自主性を育むようにも図っている。</p>			

### 吉川市基本情報

運営委員会名	吉川市放課後子ども教室事業運営委員会		
構成役職 (合計 8名)	学童保育室関係者1名 放課後子ども教室関係者1名 社会教育関係者1名 三輪野江小学校教頭1名 教育委員会職員 2名 保育幼稚園課2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の活動内容について (実施プログラムの説明)</li> <li>・安全確保、保護者迎えの場所の確認について</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 8箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	25日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	1人
登録児童数	77人	ボランティア数	5人
平均参加児童数	70人	1日当たりの 平均スタッフ数	9人/教室



〔かけっこ教室〕



〔ハンドボール教室〕

# 放課後子供教室・東部地区

## 白岡市・菁莪小学校放課後子ども教室

活動場所	多目的室、体育館、特別教室、校庭	参加者数	登録児童数	50人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	23人
連携団体	スポーツ推進委員連絡協議会、社会教育関係団体 等			
プログラム例	マーブリング、モルック教室、ボッチャ教室、ペットボトル空気砲（工作）、マジック教室、漢字釣り 等			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後に、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、様々な体験・交流活動の機会を提供することを目的とし、実施している。</p> <p>令和5年度は、参加希望者数が多かったため、1、3年と2、4～6年生に分け、それぞれ月1回実施しており、プログラムは子ども同士が交流できるものを企画している。</p> <p>また、学童保育所とも連携し、学童保育所から放課後子ども教室に参加する児童の受け入れや引き渡しを行っている。</p> <p>保護者からは、同級生だけでなく異学年の児童たちとの交流や家庭でのコミュニケーションが増えた、普段体験できない経験ができた、地域の方々がしっかり見守ってくれるため安心できるなど、好評を得ている。</p>			



〔モルック教室〕



〔プログラミング教室〕

## 白岡市基本情報

運営委員会名	白岡市放課後子ども教室運営会議 (白岡市社会教育委員会議)		
構成役職 (合計14名)	学校教育関係者2名 社会教育関係者4名 家庭教育関係者4名 学識経験者2名 公募2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画及び活動プログラムに関すること</li> <li>・安全管理方策、広報活動方策、人材確保方策に関すること</li> <li>・事業実施後の検証及び評価等に関すること</li> <li>・その他事業の運営に関し必要な事項に関すること</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	2教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 12箇所		
対象学校区	2校	平均開催日数	14日
主な対象学年	全学年	コーディネーター数	2人
登録児童数	58人	ボランティア数	13人
平均参加児童数	16人	1日当たりの 平均スタッフ数	8人/教室

## 放課後子供教室・東部地区

### 杉戸町・杉戸第二小学校わくわく教室

活動場所	校内わくわく教室	参加者数	登録児童数	42人
参加対象	1～4年		1日平均参加者数	21人
連携団体	—			
プログラム例	万華鏡、ハロウィン飾り、クリスマス飾り等の作成			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は「わくわく教室」の愛称のもと実施している。子供たちの居場所を確保するとともに、地域間交流、異世代間交流の機会を与え、子供たちの安全・安心できる環境づくりを目指している。</p> <p>今年度は、参加者を1・3年生と2・4年生の教室に分けて、各21人ずつで合計42名で実施。</p> <p>参加した児童は、下級生の児童と一緒に仲良く作品作りをする姿が見られた。</p>			



〔万華鏡作り〕



〔ハロウィン飾り作り〕

### 杉戸町基本情報

運営委員会名	杉戸町放課後子供総合プラン運営委員会		
構成役職 (合計14名)	学校関係者(学校長)3名 放課後子供教室代表6名 放課後児童クラブ関係者1名 地域住民1名 PTA関係者1名 行政関係者2名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子供教室の前年度実施状況</li> <li>・本年度実施計画について</li> <li>・放課後子供教室事業予算について</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	1教室 児童クラブとの連携情報 一体型 1教室 連携型 0教室 参考：放課後児童クラブ箇所数 9箇所		
対象学校区	1校	平均開催日数	25日
主な対象学年	1～4学年	コーディネーター数	2人
登録児童数	42人	ボランティア数	1人
平均参加児童数	20人	1日当たりの 平均スタッフ数	3人/教室

## 放課後子供教室・東部地区

### 松伏町・金杉小学校放課後子ども教室

活動場所	教室、体育館、校庭	参加者数	登録児童数	30人
参加対象	全学年		1日平均参加者数	25人
連携団体	学校応援団、埼玉土建吉川松伏支部、			
プログラム例	宿題、昔遊び、ドッジビー、スナッグゴルフ、木工教室			
特徴的な活動内容と成果	<p>本教室は、放課後の子どもに安心安全な活動場所を提供するため、地域の方々の協力を得て開設している。勉強やスポーツ、文化芸術活動等を通して地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを目指している。</p> <p>学童クラブとの一体型の取り組みは、ドッジビー、スナッグゴルフ、木工教室を行っている。</p> <p>地域の歴史や文化を知り、郷土愛を育成するため「まつぶし郷土かるた」とりを行っている。これをもとに教育委員会が主催するジャンボカルタとり大会に児童が参加し、低学年の部で優勝するという好成績を収めた。</p> <p>児童の安全のため、終了後には保護者のお迎えを必須としている。保護者との連絡用に専用携帯電話を準備し連携を図っている。開設以来重大な事件事故は発生していない。</p>			



地域交流・スナッグゴルフ



地域交流・木工教室

### 松伏町基本情報

運営委員会名	放課後子ども教室運営委員会		
構成役職 (合計 9名)	校長 1名 P T A会長 1名 学童クラブ本部長 1名 学校応援団代表 1名 教育文化振興課長(行政) 1名 指導員 1名 コーディネーター 2名 行政担当者 1名		
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の策定</li> <li>・参加児童の状況</li> <li>・事業の実施状況の検証</li> <li>・学童クラブとの共通プログラム</li> <li>・次年度の活動計画</li> </ul>		
放課後子供教室 実施数	1教室	児童クラブとの連携情報	6箇所
	一体型 1教室		
	連携型 0教室		
		参考：放課後児童クラブ箇所数	6箇所
対象学校区	1校	平均開催日数	59日
主な対象学年	1～6学年	コーディネーター数	3人
登録児童数	30人	ボランティア数	10人
平均参加児童数	25人	1日当たりの 平均スタッフ数	7人/教室